

コロナ禍の防犯活動の核としての青パト活動 ～米沢市防犯協会～

米沢市防犯協会は、県内の団体では最多の青パト台数170台（令和2年9月末現在）を有する青パト活動が大変活発な団体です。

米沢市内の各支部でのパトロール等のほか毎月15日を「青パトの日」と決めて登下校時等のパトロールを実施しています。

青パトは米沢の安全・安心の象徴

当会では、上杉まつりや花火大会などのイベントの際や週末の大型店舗での徒歩パトロール、広報活動等を行ってきましたが、今年は、新型コロナウイルスの影響もあり、これまでどおりの活動が困難な状況となりました。

米沢市内では、特殊詐欺の被害が発生していることから、当会独自で犯罪被害の防止広報ができないかと考え、米沢警察署の協力を得ながら、当会の強みである青パトを活かした広報活動を考えたのです。

その結果、当会の中学生ボランティア「防犯・交通米沢少年隊」の防犯ショートムービーの作成し、地元のケーブルテレビ（NCV）で放映して貰うことと、その音声を青パトのメロディとして活用することを企画しました。

そのメロディがつい先月完成し、この青パトメロディは、「鍵かけ」「特殊詐欺被害防止」「不審者から身を守ろう」「ネット犯罪被害防止」「交通安全」の5テーマ6種類のメロディです。当会では、これらのメロディを活用し、青パト活動を強化するため、貸出し用のスピーカーセットを今年度購入しました。スピーカーセットは、当会の青パト実施者であれば誰でも活用できるように当会の事務局のある米沢市環境生活課で管理しています。

先日行われた米沢警察署管内の全国地域安全運動出発式にも当会会員のほか、各種団体や学校関係者等約100名と青パト約40台が参加して行われましたが、その席上で、今回作成した青パトメロディをお披露目しました。出発式の後には、この青パトメロディを活用し米沢市内の広報活動を実施しています。

コロナ禍で、これまで同様の防犯活動もできない状況が今後しばらくは続くと思われる。しかし、当会では我々の強みである青パトをフル活用し、安全で安心して暮らせる米沢市を目指して、「自分たちの地域は自分たちで守る」を合言葉にこれからも活動をしていきます。（文～米沢市防犯協会会長 若月 洋）



〔全国地域安全運動出発式の様子〕



【県内の青パト情勢】（令和2年10月末）
団体数 170団体、実施者数 6,093人、台数2,289台